

あらぐさのつどい (2016. 5. 28)

20年前に船橋で勤めていた頃には、岡本太郎の「太陽の塔」と広い遊び場とアスレチックくらいしかなかった【ふなばしアンデルセン公園】が全国で3位の人気テーマパークになったと聞き、楽しみに参加しました。

今回、行ってみて納得。子供達は広場にある長い「大すべり台」や「ボール島」などの遊具で遊び、大人は森林浴をしたり色とりどりの花を見ながら散策するなど子供から大人まで一日中、飽きずに遊べます。アスレチックは100種類もあるそうです。

同じく【ふなばしアンデルセン公園】内にある「こども美術館」で展示されていた空き缶を使ったアート作品は、私たちの想像をはるかに超えた素晴らしい作品ばかり。その世界観に私たちも圧倒され感動しました。リサイクルや環境問題について改めて考えさせられました。

お昼には特別に注文していただいた、太巻き寿司入りのおかずも豊富なお弁当に大満足。公園内の売店で食べた、地元酪農家の搾りたての牛乳のアイスクリームの味が忘れられません。まさに満喫した1日でした。



帰りのバスの中で見た原爆についてのDVDの中で女の子が「知ってるつもりだったけどそうじゃなかった、でも知ろうとすると怖い」と語る言葉は、現代の子供たちにも戦争や原爆など過去にあった「怖い現実」や平和をしっかりと伝えていかなくてはならないことを訴えているようでした。